



ささえて、ささえられて



かかみがはら



サポート君

2013年10月15日号 No.154



『きっとこの手だと思うよ。』
多くの子どもたちもプロの次の手を予想しました。
— 福祉フェスティバル2013でのひとコマ —



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ウェブサイト <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>



▲ゲームが始まると皆、真剣な表情に

支部社協活動 が住みよいまちをつくる

市内に17の支部社協が地域の実情に合わせた福祉活動を展開しています。今回は陵南支部の取り組みを取材しました。

9月1日、陵南福祉センターでは、ふれあい健康麻雀大会が開催され、地域に暮らす32名の高齢男性が集まりました。

この健康麻雀は、「賭けない、吸わない、飲まない（アルコールを）」の3無麻雀と呼ばれるもので、「競技」より「ふれあい」を目的としたものです。自己紹介から始まり、多くの方と顔が合わせられるよう組み合わせて工夫がなされました。おかげで昼食時や休憩時間も話に花が咲き、終始和やかな雰囲気の中、会が進行されました。



▲マージャン以外の話題も盛り上がります。

陵南支部（山下孝男支部長）では、昨年度3回行われた福祉座談会を通じて、今年度の課題を「男性に支部活動に参加してもらうには」として、取り組んでいます。



▲指先を動かすことは、認知症予防にもつながります。

「麻雀をするのは、職場の付き合い以来で何十年ぶり」と言われる方から、日頃から麻雀をする方まで様々でしたが、初心者ペースに合わせる心遣いもあり、真剣にゲームに取り組みました。

最年長者は92才の多治見さん。「町内の掲示板で大会を知ったものの、ルール等に不安があり参加に迷ったけど、こうして地域の皆さんと楽しく過ごすことができ、参加して良かった」と笑顔で感想を述べられました。

この他、「家に居るばかりであり

お付き合いがない中、こうして気軽に参加できる機会は大変嬉しい。「今後、定期的に皆さんと遊べる機会が欲しい。」など、継続した活動に繋がる意見もありました。

支部役員さんからも「今までの支部の行事では、見かけない方の参加がたくさんあり嬉しく思いました。男性も気軽に集まれるサロンへと結びつくといいですね。」と感想が聞かれました。



▲男性ばかり集まる支部イベントも珍しい？

ボランティアハウス紹介

はっかかい
ボランティアハウス20日会

残暑が厳しい8月20日、住宅地の民家から賑やかな声が聞こえてきました。

この集まりは、ボランティアハウス20日会（鵜沼第一連合支部）。会場を提供してくださるのは、ハウスの代表の高木秀子さん。地域の高齢者がそれぞれ一人で過ごしていることが気になっていたこともあり、「み



▲地域の民生委員さんにもお手伝いいただきました。

んなで集まってお話をしましょう」と声掛けをし、今年4月に発足しました。

毎月20日に開催するから「20日会」。次の開催はいつだか忘れないようにネーミングに工夫がされています。そのおかげで近所からお野菜のおすそわけがあったり、お手伝いもあるなど、地域からもサポートいただいています。

暑い時期は、昼食後もおしゃべりに花が咲き、3時過ぎまで過ごされることも多く、とても居心地がよいようです。

この日は折り紙で傘づくりに挑戦していましたが、「折り方がわからなくなったら、散歩がてら、いつでも立ち寄ってくださいね。」と声掛けする高木さん。参加者の笑顔が活動を進めるパワーになっているとのこと。

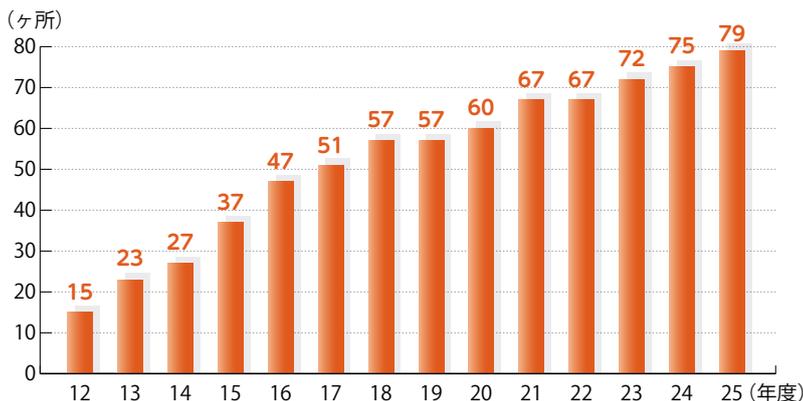
参加していた方々からは「近くで集まれる場所がありとてもありがたいです。20日が待ち遠しくてねえ。」との感想が聞かれました。高木さん宅のお嫁さんや1才になる

お孫さんも一緒になって参加する姿があり、「家庭」の温かみを感じる事ができるボランティアハウスでした。



▲カラフルなパラソルができました！

ボランティアハウス設置数の推移



ボランティアハウスは歩いて行ける地域の公民館などに集い、仲間づくりの輪を広げる活動です。今年9月に「いきいきサロン鵜沼宿」が立ち上がり、79ヶ所で開催されています。近年では、自宅を開放していただけるハウスも増えてきました。

興味のあるかたは、お気軽にお尋ねください。

ご近所の見守りボランティア 近隣ケアグループの活動から

近隣ケアグループは、ご近所で声かけや見守りをとおして、高齢者や障がい者の方々をその地域で支える取り組みです。現在市内において約300グループ、2000人の方にご活躍いただいています。平成25年3月の、活動報告やアンケート調査を行った結果を紹介します。



近隣ケアグループあすなる
《代表の加藤美津子さん(右)と藤井佳代子さん(中央) 西野町1自治会》
8名のグループ員が分担し、ご近所の気になる方に一声かける活動をしています。今夏は特に暑い日が続いたため、外に出る機会も減り、おしゃべりをするのがとても少なかったため、こうして声を掛けていただけることを、大変感謝しておられました。

「ボランティア(担い手)について」

近隣ケアグループ員の選出は大きく分けて、

① 自主性や周囲からの推薦などにより、長年続けられるグループ

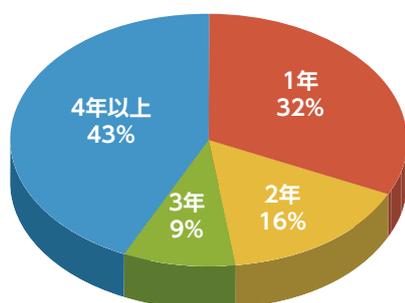
② 班長や組長さんが輪番制で、ケア役を担うグループ

と2種類あることが明らかとなりました。前者は長年続けられる方が多く、後者は毎年交代ですが、幅広く、多くの方に担っていただいているようです。

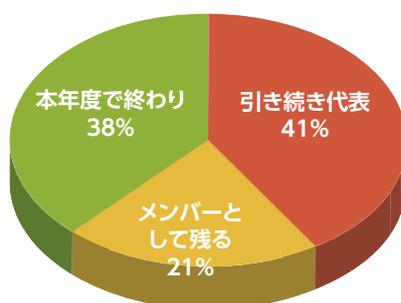
それぞれに良い面はありますが、見守られる立場の方からすると、長年続けていたただき顔馴染みとなったボランティアさんの方が、困った時の相談のしやすさがあると思います。また、いつもと違った様子(困ったサイン)にも気づきやすくなると思います。

■ 近隣ケアグループ数	293 グループ
■ 近隣ケアグループ員数	2,046 人
■ 1グループ平均人数	7.0 人 / グループ
■ グループ平均活動実績	() 内は一人あたり
■ 見守り・声掛け	166 回 (22.6 回)
■ 簡易な援助活動	21 回 (2.8 回)
■ 食事会などの活動	25 回 (3.4 回)
■ 支部社協行事へ参加	18 回 (2.4 回)

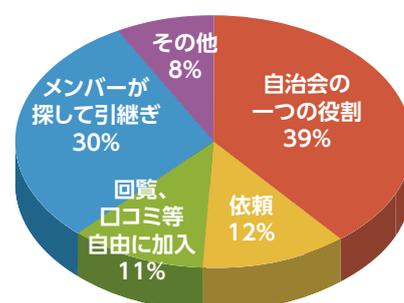
近隣ケアグループの代表経験年数について



近隣ケアグループ代表の次年度の役割



近隣ケアグループの決め方



●活動をする中で「嬉しかったこと」をお聞きました。

さりげない見守りと声かけをすることを心がけましたが、町内のことを知る良いきっかけとなりました。そして、町内で声をかけられるようになるまでの知り合いができました。

小学生に書いてもらった絵手紙をお届けしたとき、「涙が出るほど嬉しい。」と言われたこと。私も嬉しかったのですが、絵手紙を描いてくれた小学生にも、この感謝の気持ちをお届けしたい。

役員のご主人から「家内を近隣ケアグループ員に選出して良かった。今まで町内との付き合いがなかったけど、これを機に近所へのつながることができるようになった。

月1回、必ず声かけをしていたのですが、どうしても都合がつかず声かけを休んだ月がありました。すると、見まもっていた人から、「どうかされたの？」心配の電話が入ったとのこと。

近隣ケアグループの活動は、「近隣」の名のとおり、ご近所で見守る・支える活動です。このご近所と言う近い場所だから、ちょっとした異変に気づくこともでき、見守られる側には、すぐに声をかけてもらえる距離にあることが安心につながります。

現在、高齢化や世帯の単身化により、見守りが必要となる方が増え続けています。より多くの方の目で見守っていくことが必要とされているため、地域の近隣ケアグループへの参加とご協力をお願いいたします。

10月1日より赤い羽根共同募金運動がはじまっています。集められた募金は、約7割が各務原市に、3割が岐阜県内の福祉活動に使われます。皆さまからのあたたかい心を共同募金にお寄せください。よろしくお願いいたします。

赤い羽根の募金活動は、町の人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きつと、町を変えていくはじめの一步となるはずです。もっと、もっと、良いまちになりますように。



支えあうココロ、未来へ。
共同募金運動はじまる

●下記日程で街頭募金を行いますので、ご協力ください。(予定)

日時	会場	協力団体
11月10日(日) 12:00～15:00	JA ぎふ各務原中央営業所	ボーイスカウト各務原第一団
11月16日(土) 13:00～15:00	イオン各務原店	那加中校区ふれコミ隊
12月 8日(日) 10:00～15:00	市内のスーパー	各務原市明るい社会づくり運動協議会



大槌町の職員さんに被災状況の説明をしていただきました。



民協バザーは雨でも大盛況！



AEDの使い方を学んでいます！



要約筆記講座受講募集中！
詳しくは8頁に。



手話を親子で学んでいますよ。



お抹茶でいっぷく。



芸術的な作品が揃っていましたよ。



見て～白パイに乗ったよっ！



次の一手を早く言って～!?



上手にぬれたかな？



ススキの葉でバッタを作りましたよ。



盲導犬体験しました。



岐阜工業高校SL列車、しゅっぱ～つ♪

福祉フェスティバル2013

雨の中、大勢の皆さまにお越しいただき、感謝の気持ちでいっぱいです！



三世交代交流事業（川島支部）



車いす体験学習



長塚町ふれあいサロン（那加一支部）



社会福祉協議会 会員・会費募集
ご協力いただき
ありがとうございました。

●一般・特別会員
36,349 世帯

●賛助・団体会員
751 法人・事業所

●会費総額
21,450,500円
(平成 25年 9月 25日現在)

8月から自治会長さん・民生委員児童委員さんをはじめ班長・組長の皆さまの多大なご協力により、市内各世帯を単位として、会費募集をさせていただきましたところ、本年度も多くのご協力をいただくことができました。募集にあたって温かいご支援をくださった会員（一般・特別・法人等）の皆さま、誠にありがとうございました。

集まりました会費は当協議会の実施する社会福祉事業のために大切に使用させていただきます。



サポート君



参加募集
お達者でクッキング



日時 11月22日(金) 午前10時〜
会場 総合福祉会館 3階 料理室
対象 ひとり暮らし高齢者
高齢者夫婦の方
参加費 500円
持ち物 エプロン・三角巾
定員 25名
協力 市食生活改善協議会
申込み 11月15日(金)までに
総務課
☎058・383・7610

第3回 市民福祉講座開催のご案内

—ボランティアハウスのつどい—

各務原市内の福祉活動の発表と福祉の講演をおこなう市民福祉講座を開催します。

■ 地域における仲間づくりを進める拠点

- ボランティアハウス活動発表
- ・神置百歳クラブ

■ 市内の施設に通う皆さんの表現力あふれる舞台芸術の披露

- ・ミュージックベル演奏 (エンジェルハウス)
- ・演劇 (あしたの会共働学校)
- ・ダンス (星の村)

■ 記念講演

- ・演題「地域福祉の大切さについて」
- ・講師 渡辺哲雄さん (日本福祉大学専門学校専任講師)



▲エンジェルハウスのミュージックベル

日時 平成25年12月9日(月)
午後1時～3時30分
会場 産業文化センターあすかホール
申込み 総務課 ☎058-383-7610

日程

11月14日(木) 9:30～16:30	・社会福祉協議会について ・耳を傾ける術 (コミュニケーション) ・認知症ってどんな病気?
12月9日(月) 13:00～15:30	・第3回市民福祉講座 地域福祉活動の大切さ
12月～1月	市内 施設実習
1月20日(月) 10:00～16:00	・障がいの理解 ・各務原市の福祉 ・認知症と家族 ・交流会

会場 総合福祉会館集会室

参加費 無料



▲昨年は34名の方が修了しました。

申込先

総務課

☎058・383・7610

定員30名(先着)

ボランティア活動をはじめるときつかけはありますか？
社会福祉協議会では高齢者や障がいの者の方が住み慣れた地域で生活を続けていけるよう体制づくりをすすめています。
その一つに支えあいサポーターを養成しています。
左記の講義や施設実習に参加し、地域でボランティア活動するきっかけにはいかがでしょうか？

支えあいサポーター塾

参加者募集!

募集!

職員募集

各務原市社会福祉協議会では、次の通り正職員を募集いたします。内容をご確認のうえ、ぜひご応募ください。

採用期日 平成26年4月1日(火)

受験要件 昭和43年4月2日以降に生まれ、現に介護福祉士の資格を有する者

募集人員 2名

受付期間 平成25年11月1日(金)～11月29日(金)まで

試験の期日場所 第1次筆記試験

期日 平成25年12月15日(日) 10時～16時

第2次面接試験

期日 平成26年1月上旬

総合福祉会館 3階 集会室

事務局又は各務原市社協ウェブサイトへ

☎058-383-7610

問合せ

要約筆記体験 講座

聞こえの不自由な方に、その場で文字にして伝えることを要約筆記といいます。聞こえの不自由な方が、講演会や病院受診、子どもの授業参観などの行事の時に、耳の代わりとなって書いて伝えます。夜間と土曜日開催ですので、仕事をされている方のご参加もお待ちしております。

日程

コース	1回目・2回目	3回目
①	10/24(木)・11/7(木) 19時～21時	※①、②コースともに 11/16(土)
②	10/26(土)・11/9(土) 9時30分～11時30分	9時30分～11時30分

場所 総合福祉会館3階 研修室
内容 聞くことのしくみ・要約筆記体験
定員 各20名(1回のみ参加可)
申込 総務課 ☎058-383-7610
 FAX 058-382-3233

第47回

各務原市社会福祉大会開催

日時 平成25年11月12日(火) 午後1時～3時30分
場所 各務原市民会館大ホール
内容 ①福祉関係功労者の表彰
 ②記念講演
 講師：笹野高史さん(俳優)
 演題：「待機晩成」～日本一の脇役が語る人生の美学～

入場料 入場は無料ですが、整理券が必要です。整理券は10月22日(火)から次の窓口で配布。

- ・各市民サービスセンター
- ・川島振興事務所
- ・市民会館
- ・市役所社会福祉課
- ・社会福祉協議会事務局



問合せ 総務課 ☎058-383-7610

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成25年6月1日～9月20日

【金 銭】

波多野耕三	9,000円
匿名	30,000円
グリーンフェア参加者一同	43,010円
匿名	200円
金華 代表 河村 企淑	6,000円
公益財団法人 田口福寿会	500,000円
株式会社 イトー住建	64,200円
宇野巳代治	5,859円
リサイクルショップ ライズヤード 井上 淳一	50,000円
岐阜県理容生活衛生同業組合 各務原支部 タオル305枚	21,826円
なでしこの会	45,000円
岐阜基地盆踊り 臨時売店会	4,896円
JAぎふ女性部かかみがはらブロック	タオル540本
山口車体工業株式会社	古切手

ひとりごと

初夏のある日、我が家の庭に見、草とも思えない植物らしきものが生えてきました。

その後、興味深々で得体のしれない植物の観察を始めました。

6月～7月にかけて、その植物はどんどん成長し、我が家の庭は覆い尽くされ征服されました。

ある日のこと、よく見ると小さな西瓜がなっているではありませんか。おそらく種がこぼれひとり生えたのだと思います。

特に肥料や水もやらず自然にまかせ、西瓜が大きく成長するのをそっと見守りました。

いよいよ収穫の時期を迎え、今年の夏は、思いもよらぬ自然の恵みの恩恵をいっぱい受けることができました。

我が家は「スイカ」食べ放題の毎日となりました。

「近所や知人にも配り、本来庭であるはずの畑(?)では、西瓜が取り持つご縁により、多くの方々とふれあいの一時を持つことができました。

この自然がもたらした恵みに感謝し、これからも人と人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

浅野 茂之